

# 2017 DAIWA KAWAHAGI OPEN

## 2017 ダイワカワハギオープン



### 決勝大会結果

開催場所 久比里（竹岡沖）

気温 13.0℃

参加人数 22名

水温 17.0℃



決勝大会当日は早朝から選手が早々に集まり、受付、釣り座抽選がスタート。



今年で記念すべき15周年を迎える2017DKO（ダイワカワハギオープン）決勝大会は朝から快晴で、海上も穏やかな好条件の中、開催された。今年度は関東2次予選から12名、関西・東海2次予選から6名、そして15周年特別企画・敗者復活戦から蘇った3名に加え、昨年度優勝シード選手1名が加わった合計22名での闘いとなった。

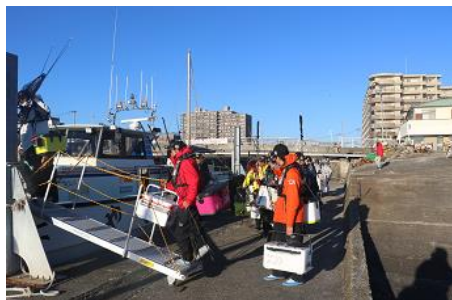
釣り座抽選は、当日一番乗りの佐々木選手がいきなり左舷1番を引き当て会場を沸かせた。前回優勝の小林選手と同3位の宮澤選手が右舷胴ノ間に隣り合わせるなど、抽選時から盛り上がりを見せる一方で、会場では並々ならぬ緊張感も感じられた。DKO史上最年少ファイナリストの荒井選手は左舷4番、前回準優勝の鈴木選手は左舷3番、2015年度準優勝の田口選手は右舷1番とそれぞれ好位置を引き当てた。

#### ファイナリスト達へ用意された参加賞





船に向かう選手達。乗船前には応援団の姿も。



試合開始直後は、カワハギの活性が上がっていない為か、スローペースな幕開けとなった。右舷2番の大島選手、左舷1番の佐々木選手、同4番の荒井選手を筆頭に、各選手良型のカワハギをかけるも、ツ抜けする選手がなかなか出てこない拮抗した展開に。船内は非常に緊迫感のある雰囲気にも包まれていた。そんな中、試合序盤に目立っていた10～20代の若手選手に負けじと、右舷1番の田口選手や、左舷6番の久松選手、同10番の石井選手もコンスタントに釣り上げる試合巧者ぶりを見せつけた。

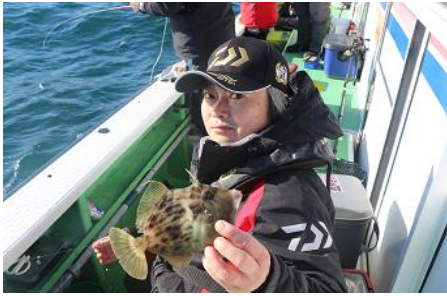
試合中盤に差し掛かると、右舷7番の宮澤選手がダブルを連発。左舷5番の森選手もトリプルヒットで、決勝戦らしい白熱した展開となる。この勢いに負けじと、同じく右舷3番の浅居選手、左舷10番の石井選手などが徐々にペースを上げ、コンスタントに釣り続ける佐々木選手や久松選手に食らいつく。右舷も左舷も大差なく、試合後半に差し掛かるまで、誰がトップに立つか片時も見逃せない。

最初の尺越えは大島選手。序盤は荒井選手や佐々木選手など若手選手の躍動が目立つ。





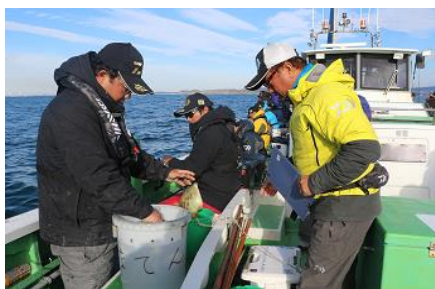
中盤以降は久松選手や田口選手を筆頭に、各選手が全国区としての意地を見せつける。



13時をまわる頃には、これまで息を潜めながらも、冷静に釣果を上げ続けていた右舷の宮澤選手が周囲を突き放す勢いでトップを走っていた佐々木選手を猛追。それに対し、序盤からテンポよくかけ続けていた佐々木選手は勢いを止めることなく、更にペースを上げる。準優勝経験者の田口選手や、浅居選手、荒井選手も中盤から終盤にかけてペースを上げ、上位陣へのプレッシャーをかけた。

14時になると同時に、試合終了のコールがなされる。全選手がカウントを終え、船中唯一の40枚越えで佐々木選手の初優勝が決定した。15周年という記念すべき今大会で、前日のプラでは9枚だったという釣果が嘘のように、今期絶好調の期待の若手は実力を披露した。2位にはトップへの猛追を続けた宮澤選手が入り、驚異的な強さを見せた。序盤から安定感を見せた久松選手は2位と1尾差で3位入賞となった。

佐々木選手がDKO史上、最年少優勝を見事達成！！







### 優勝：佐々木 健仁選手

竿はボトムですが、普段はキャストの釣りをしているので、終始それに徹しました。魚が手の平サイズだったり、23~24cmもいたので、アタリの大きさにアワセ方を変えたり、誘いを変えて、魚に合わせる釣りをしたという印象です。キャストして、反応が悪い時にこそ自分の釣りを崩さず、マイペースで拾って行けた事が勝因かと思います。ありがとうございました。

### 準優勝：宮澤 幸則選手























5年連続の表彰台ですね。普段から口酸っぱく言っている「カワハギ三原則」(①チャンスを見逃さない②ハリに迷わない③糸を送ってアタリを貰いに行かない)を心に言い聞かせながら...守り切れませんでした...(苦笑)。右舷6番の小林選手とは昨年も並びで、小林選手がキャストの釣りをすることがわかっていたので、船下をメインで攻めました。優勝できず悔しいですが、結果としては昨年より順位を上げる事が出来、よかったのではないのでしょうか。ありがとうございました。



### 3位：久松 秀文選手

左舷4番の荒井選手が船下の釣りをしていたので、そこで同じ釣りをしてもダメだろうなと感じていました。投げて、ロングハリスの6.5号を使って、アタリも小さかったので、吸わせる事をイメージして仕掛けました。(6.5号で)尺クラスも釣りました。波寄せ気味で誘いは派手にせず、オモリは基本ズル引きで勝負しました。本日はありがとうございました。

みよし

	枚数 <b>42</b>	<b>優勝</b> 佐々木 健仁 選手 左-1	右-1	4位 田口 誠治 選手	枚数 <b>35</b>	
	<b>18</b>	19位 加賀谷 匠 選手 左-2	右-2	13位 大島 匠 選手	<b>23</b>	
	<b>21</b>	16位 鈴木 泰成 選手 左-3	右-3	5位 浅居 修平 選手	<b>32</b>	
	<b>31</b>	6位 荒井 良乃介 選手 左-4	右-4	20位 青木 海斗 選手	<b>16</b>	
	<b>12</b>	22位 森 豊 選手 左-5	右-5	11位 大野 浩司 選手	<b>25</b>	
	<b>38</b>	3位 久松 秀文 選手 左-6	右-6	9位 小林 直樹 選手	<b>27</b>	
	<b>23</b>	13位 木戸口 智明 選手 左-7	右-7	<b>準優勝</b> 宮澤 幸則 選手	<b>39</b>	
	<b>24</b>	12位 石田 昌伸 選手 左-8	右-8	21位 清水 恭仁 選手	<b>13</b>	
	<b>26</b>	10位 大橋 博 選手 左-9	右-9	16位 荒川 典彦 選手	<b>21</b>	
	<b>30</b>	7位 石井 康夫 選手 左-10	右-10	18位 武田 卓也 選手	<b>19</b>	
	<b>28</b>	8位 園田 義照 選手 左-11	右-11	13位 寺西 洋一 選手	<b>23</b>	

順位	お名前	住所	釣座	尾数
優勝	佐々木 健仁	横浜市港北区	左舷-1	42
2	宮澤 幸則	東久留米市	右舷-7	39
3	久松 秀文	名古屋市名東区	左舷-6	38
4	田口 誠治	東大和市	右舷-1	35
5	浅居 修平	大田区	右舷-3	32
6	荒井 良乃介	横浜市中区	左舷-4	31
7	石井 康夫	大田区	左舷-10	30
8	園田 義照	鹿児島市	左舷-11	28
9	小林 直樹	草加市	右舷-6	27
10	大橋 博	鎌倉市	左舷-9	26
11	大野 浩司	大和市	右舷-5	25
12	石田 昌伸	大田区	左舷-8	24
13	大島 匠	世田谷区	右舷-2	23
13	木戸口 智明	足立区	左舷-7	23
13	寺西 洋一	君津市	右舷-11	23
16	荒川 典彦	松戸市	右舷-9	21
16	鈴木 泰成	知多郡美浜町	左舷-3	21
18	武田 卓也	洲本市	左舷-10	19
19	加賀谷 匠	横浜市中区	右舷-2	18
20	青木 海斗	厚木市	右舷-4	16
21	清水 恭仁	堺市北区	右舷-8	13
22	森 豊	愛知県東郷町	左舷-5	12

※敬称略

※コンピューターでの表示のため、旧漢字等を修正させていただいております。予めご了承ください。

※釣った魚の総尾数で順位を決定しました。上位入賞者が同尾数の場合は、釣った魚1尾の最大重量で決定します。

※決勝大会の優勝者には次年度決勝大会シード権が、2位・3位には最寄りの二次予選シード権が与えられます。